

■ 第一部 基調講演 ■

映画『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』の医師が語る

「**自分たちで生命を守った村**」

【講師】 **加藤邦夫 医師**

「貧困・豪雪・多病多死」の三重苦を克服した岩手県沢内村のまちづくりは、全国的に知られ、安房地域でも総合健診導入時に医師会が視察をおこないモデルとして
いる。1960年に国保沢内病院長に就任した加藤医師は、当時の故深沢晟雄村長が掲げた「生命尊重行政」の中核的な担い手として、健康台帳の整備や予防活動などに15年尽力し、60歳以上と乳児の医療費無料化を実現。さらに全国で初めて乳児死亡率ゼロを達成し、一人あたりの医療費を県内最低額に抑えることにも成功した。
現在、仙台徳洲会病院で人間ドッグを担当する現役医師、79歳。

■ 第二部 まちづくりシンポジウム ■

「**癒しのまちづくりの夢を語ろう!**」

松永平太さん

夢を追いつける安房の若き“赤ひげ先生”。

愛沢伸雄さん

安房の歴史遺産を守ってきた道産子。医療を考える市民の会呼びかけ人。

高野良裕さん

離島や豪雪地域で住民と医療まちづくりを実践してきた前館山病院長。

福留 強さん

全国の生涯学習まちづくりブームの仕掛け人。聖徳大学教授。

【コーディネーター】 **池田恵美子さん**

安房の魅力を語らせたなら止まらない(!?)名プレゼンター。

癒しの海辺のまちづくり

まちづくりシンポジウム2010

とき

4月28日(水) 午後7時～8時45分

ところ

千葉県南総文化ホール小ホール

参加費

500円

前売券取扱:南総文化ホール、安房医師会協賛病院



*主催=安房の地域医療を考える市民の会 (問合 0470-22-8271)

*共催=安房医師会

*協力=NPO法人安房文化遺産フォーラム、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会

*後援=館山市社会福祉協議会、南房総市社会福祉協議会、鴨川市社会福祉協議会 (予定)

村長深沢晟雄さんとの出会い

～私の青春と沢内村～ 加藤邦夫 (元沢内病院長)

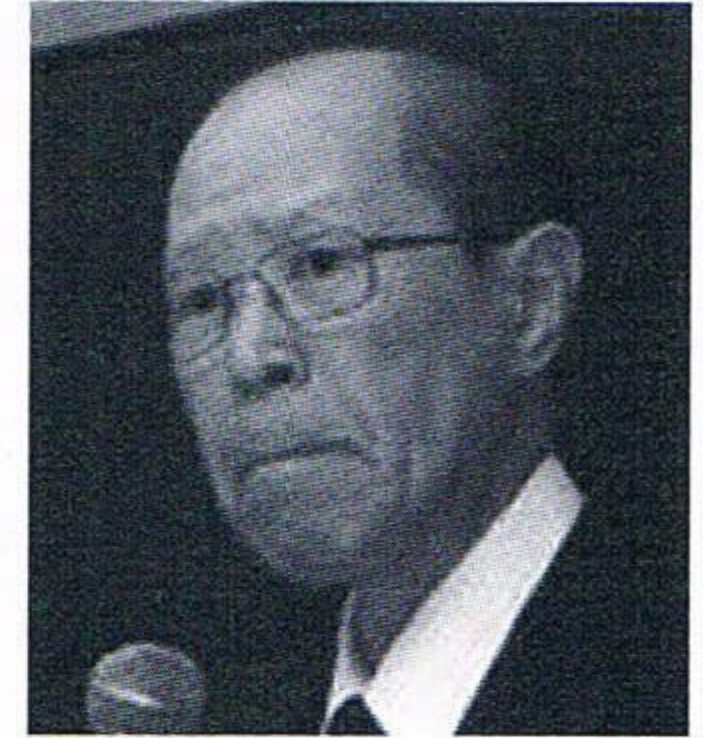
村長深沢晟雄さんと初めてお会いした日は
1960年3月17日であった。この日は沢内村
議会3月定例会の最終日であった。老朽した庁舎の急な
階段を登りつめた2階に村長室があった。間もなく隣室の議場から
審議を中断して村長さんが入って来られた。私は東北大学第一内科教授
中村隆先生の紹介状を差し出してご挨拶を申し上げた。

目を通された村長さんは慈愛にあふれた眼差しでにっこり微笑まれた。
まるでお釈迦さまが目の前におられるような印象を私は今でも忘れられない。

4月の中旬、私は一ヶ月間の派遣期間満了直前に離任挨拶のため深沢村長さんを訪問した。
そして、継続して東北大学から医師派遣を望まれるのなら病院の施設設備の整備、
人材の確保等が必要であることを申し上げた。

深沢村長さんは即座に私の意見具申を受け止められ、私に対して沢内病院再建計画と
沢内村保健医療福祉計画の策定を真剣に懇願された。しかし、私は中村教授から
学位論文に続く免疫の仕組み・体質・個体差に関する研究計画書の提出を指示されていることを
申し上げてこれをお断りしたのである。

それにも拘わらず深沢村長さんは再三にわたり沢内病院滞在期間の延長を懇願された。
私はやむなく教授了承の下に3か月間の延長に同意した。しかし、計画策定は容易ではなく、
時間だけは刻々と過ぎていった。計画策定の共同作業はいつの間にか深沢村長さんと私の間に
同志的な結合力を生みだしていた。そして、半年が過ぎた頃に私はライフワークの方針転換を
決意したのである。それは保健・医療・福祉・教育・労働・環境・経済等を一体とする
健康と生活と人権を擁護できる地域社会づくりの実践的研究への取り組みであった。



… 映画『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』パンフレットより …



プロフィール

深沢
晟雄
ふかさわまさお

- 1905年 12月11日、岩手県和賀郡沢内村(現・西和賀町)に生まれる。
一関中学校、第二高等学校(旧制)理科を経て東北帝国大学法文学部卒業。
上海銀行、台湾総督府、満州拓殖公社などで勤務。
- 1946年 敗戦後、沢内村に戻り、農業に従事。青年会の学習講座で憲法を担当。
平和と民主主義の尊さを説く。
- 1954年 高校の英語講師を経て教育長に就任。
婦人会づくり、広報創刊、ナメコ栽培普及に尽力する。
- 1956年 助役に就任。国民健康保険への認識を深める。
- 1957年 第18代沢内村長に当選。
- 1960年 全国に先駆け、老人(65歳以上)医療費無料化を断行。
- 1961年 さらに60歳以上と乳児(1歳未満)に医療費無料化を拡大実施する。
- 1962年 全国で初めて乳児死亡率ゼロを達成。全国から注目を浴びる。
- 1963年 生命行政が評価されて、保健文化賞受賞。
- 1965年 1月28日逝去(享年59歳)

●村民に呼ばれたニックネーム：ナメコ教育長 ブルドーザー村長 赤ちゃん村長 かまど返し村長 生命村長